

県下No.1進学塾がレジリエンス・トレーニングプログラムを導入。その理由とは？



間山泰旨氏

塾は、「勉強を教わる場」のままでもいいのか？

カラフル・ドアーズを導入した動機はどういったものがあつたのですか？

間山 私たちは長年に渡り地域の教育に携わって参りました。多くの子供たちを指導する中で、思考習慣や行動習慣が学習成果に大きく影響することを痛感しており、それをどう変えるかが大きな課題でした。そんな中、「その習慣をダイレクトに変えていける！これ

だ！」と思ったのが、導入の一番の理由です。また、中期的に学習塾としてどう発展していくかを検討する中で、より大きな成果を上げるためにどうしたらよいかを考え抜きました。その結果、子どもたちが勉強を教わりに来る場から、「子どもたちが自発的に学ぶ場」に変えていく必要があるという結論に至ったことも大きな要因ですね。

大原 今の時代、うまい授業分かりやすい授業というのは、映像を家で見ることでできてしまう。わざわざ教室まで足を運んでフェイストゥフェイスで学び合う意味とは何か？一緒に空間にいるからこそできることをやらないと、これからの時代は塾としての価値が

落ちていくのでは？



大原幸夫氏

教育改革で求められる学力をつけるためにも大きな原動力になりそうです。

間山 現在、大きな教育改革が行われていますが、その一番大きな目的は、日本を牽引す

るリーダーとなる人材を育成することだと考えています。そのためには、受験があるから仕方なく勉強するのではなく、子供たち自身が社会との繋がりを考えながら、自らの意志で学ぶことが必要です。私たちは、学ぶということの原動力を育てていかなければなりません。その原動力を引き出すためのものがカラフル・ドアーズという位置づけなんです。そして実際にやってみて、「学力3要素」の主体性・協働性や思考力・表現力を伸ばす仕組みになるということを実感しました。

塾への導入がしやすい指導者養成講座

塾に取り入れるときには、例えば独立した講座を作るのでしょうか？あるいは普段の授業の中に入れていく

ような形なのでしょう？

間山 学習活動を支えるものなので、一部の特定の子供たちではなく、通塾生全員に受けてもらいます。そのため、通常授業の中に、毎週1回15分間の枠で取り入れています。

大原 NSGさんには、通年型のプログラムと年2回のイベントを併用する形で導入いただきました。プログラムは、通年継続型の集中プログラムがありますが、運用の仕方につきましてご希望をお聞きしてカスタマイズが可能です。



講師の研修風景

指導者のための研修として「公認ワークショップリーダー養成講座」がありすが、これはどのようなものなのでしょうか？

大原 塾の先生は忙しく、なかなか時間が取れないということで、研修は2種類に分けています。「基礎コース研修」は15分間のプログラムを担当できるようにするもので、全員に受けてもらいます。その上で、もっと長時間のプログラムを効果的に回せるファシリテーターのための「資格コース」があります。

この「資格コース」を修了すると公認ワークショップリーダーの資格が付与され、次年度以降の基礎コース研修は、公認リーダーが社内で行えるようになります。内部で育成する仕組みができるので、経費削減にも繋がると思っています。

養成講座の費用はいくらぐらいなのでしょう？

大原 基礎コースは1回5万円です。受講者は20人でも5万人でも5万円です(笑)ほとんど



生徒たちのワーク風景

どの塾には非常勤の講師がいらっしゃると思いますが、その人たち一人一人に何万円もの研修費をかけるわけにはいきませんよね。ですから、養成講座1回につきいくら、という課金の仕方になりました。資格コースは、より専門性の高い学びをしようというので、一人5万円プラス交通費などの実費という形にさせていただいています。格安ですよ(笑)

受験の先を考える

実際に養成講座を受けた先生にはどんな変化が起っていますか？

間山 職員の多くは「体験から学ぶ」という学習スタイルを、この養成講座で初めて知ります。

自分自身が生徒の立場になってプログラムを実体験するのですが、初めはやりながら不安がない人、自分でできるのか不安がる人、結論をコントロールしようとする人、などなど反応は様々でした。でも今は、新しい指導スタイルを楽しんでいる職員が増えてきました。また教科指導の授業のやり方が変わってきたという声も聞いて、驚いています。

今後、NSGが目指すもの、カラフル・ドアーズが目指すものはなんでしょうか？

間山 私たちは、「21世紀を力強く生き抜いていける人間の育成」という教育目標を掲げていますので、これからもブレずに追及して参ります。

大原 子供にとって受験はとても高いハードルです。私も経験してきましたが、今振り返ってみると、受験を乗り越えた先の人生にはさらに高いハードルが待っていて、それを越え

てもさらに高いハードルが現れます。だから合格さえさせればいいのかではなく、「受験があつたからこんなに成長できた」という経験にして欲しいんです。受験の先を、子どもたちの未来を、真剣に見据えている方々にカラフル・ドアーズを使っていたら、多くの子供たちに届けたらと思っています。



カラフル・ドアーズのテキスト

Colorful Doors
お申込み・お問い合わせ

一般社団法人 実践行動学研究所
TEL : 025-226-7313
<http://jissenkoudougaku.jp>